

活動結果報告書

令和 5年 1月 13日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和 4年 11月 18日(金曜日)

活動先 越前市内

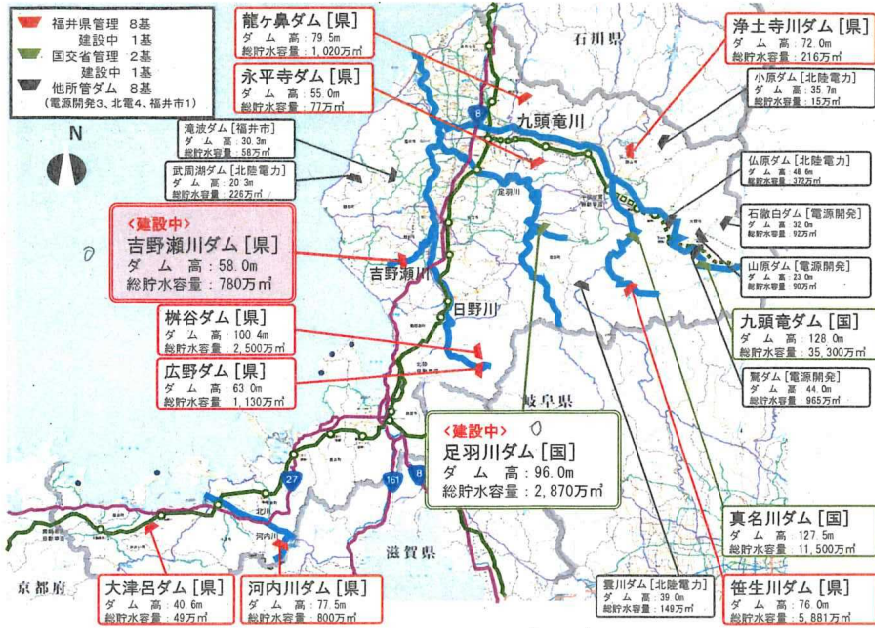
活動目的 市内視察

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

1. 活動名 市内施設視察
2. 目的 越前市内の公共施設を視察することで、今後の市議会での議論を深め、適切な政策に活かすことを目的とする。
3. 日時 令和4年11月18日（金） 午前8時30分から正午12時
4. 参加者 三田村輝士、吉田啓三、土田信義、大久保恵子、砂田竜一
5. 視察工程
 - 8:45 豪雨（8/4、8/5）被害現場（大虫町）確認
 - 9:00 吉野瀬川ダム工事現場 進捗状況確認
 - 10:00 上太田保育園 共生保育（外国児童）の現状
 - 11:10 紫式部公園 園路改修工事現場 確認
6. 移動方法 砂田の自家用車にて移動（移動距離：計19.3km）
7. 研修に参加してみたの感想

現場の状況を確認することで、補助や支援、支給の対象の確認を具体的に行えた。それぞれの対象場所では創意工夫のもと、市民サービスに繋がる効果を確認するとともに、今後の課題の確認が行えた。今回の視察を生かし、今後の議会での論議を深めたい。

吉野瀬川ダム建設現場視察



20

396億円

令和4年11月18日

福井県吉野瀬川ダム建設事務所



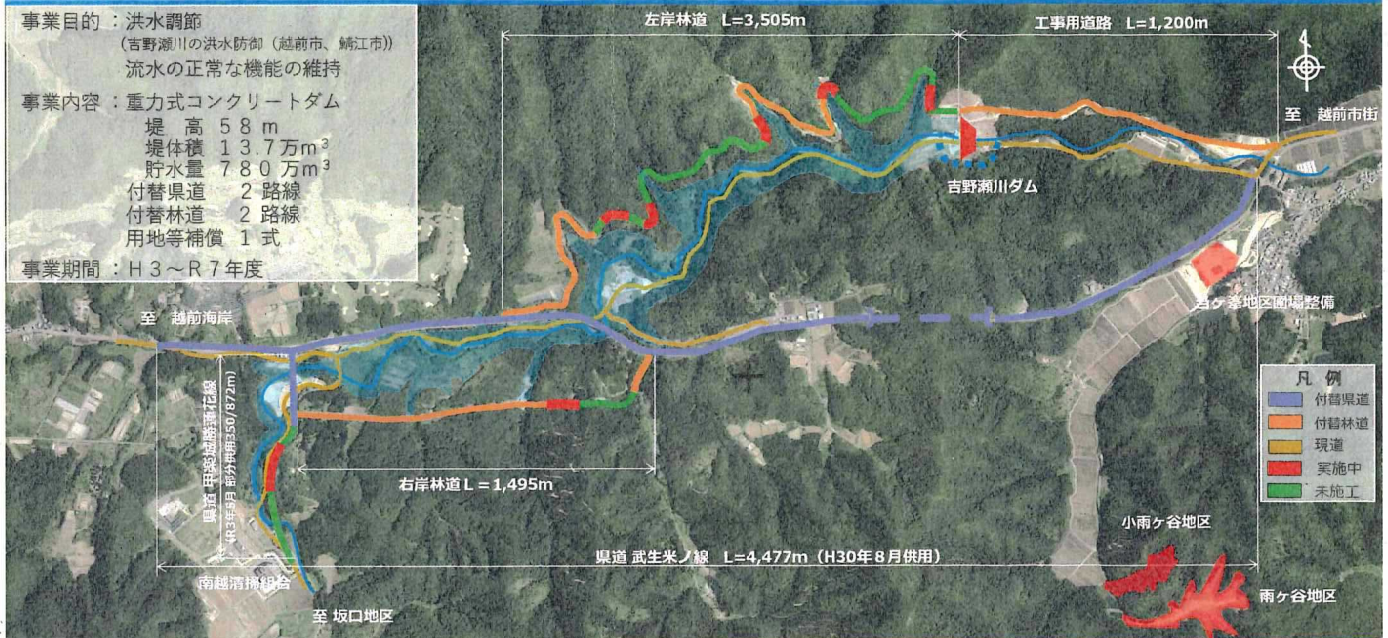
台流E10 10km ダム上流から越前市街地を撮影 (R4.10.20)

吉野瀬川ダム建設事業の概要

事業目的：洪水調節
 (吉野瀬川の洪水防御(越前市、鯖江市))
 流水の正常な機能の維持

事業内容：重力式コンクリートダム
 堤高 58m
 堤体積 13.7万m³
 貯水量 780万m³
 付替県道 2路線
 付替林道 2路線
 用地等補償 1式

事業期間：H3～R7年度



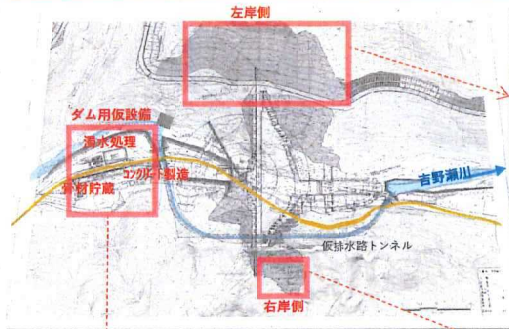
道路工事状況

山を切り開いて道路を作っています。

ダム本体工事の状況

受注者：(株)安藤・間、(株)建世、(株)清水組、(株)建設機JV
 工期：R3.3.17～R8.3.31

ダム本体工事の進捗 (2022年11月時点)



基礎掘削状況

左岸と右岸を同時に掘削しています。

左右岸共に頂部からダム天端まで切り下り、ダム堤敷部の掘削が進んでいます。

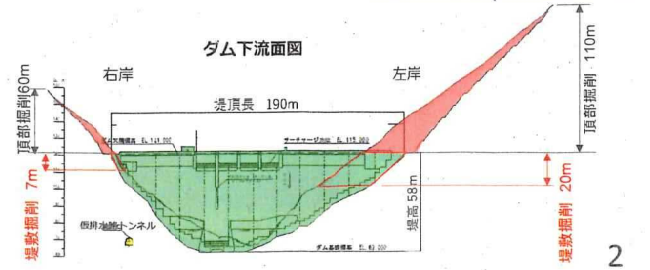
また、掘削部分が崩れないように、法面保護工(法枠工、鉄筋挿入工、アンカー工)も行っています。



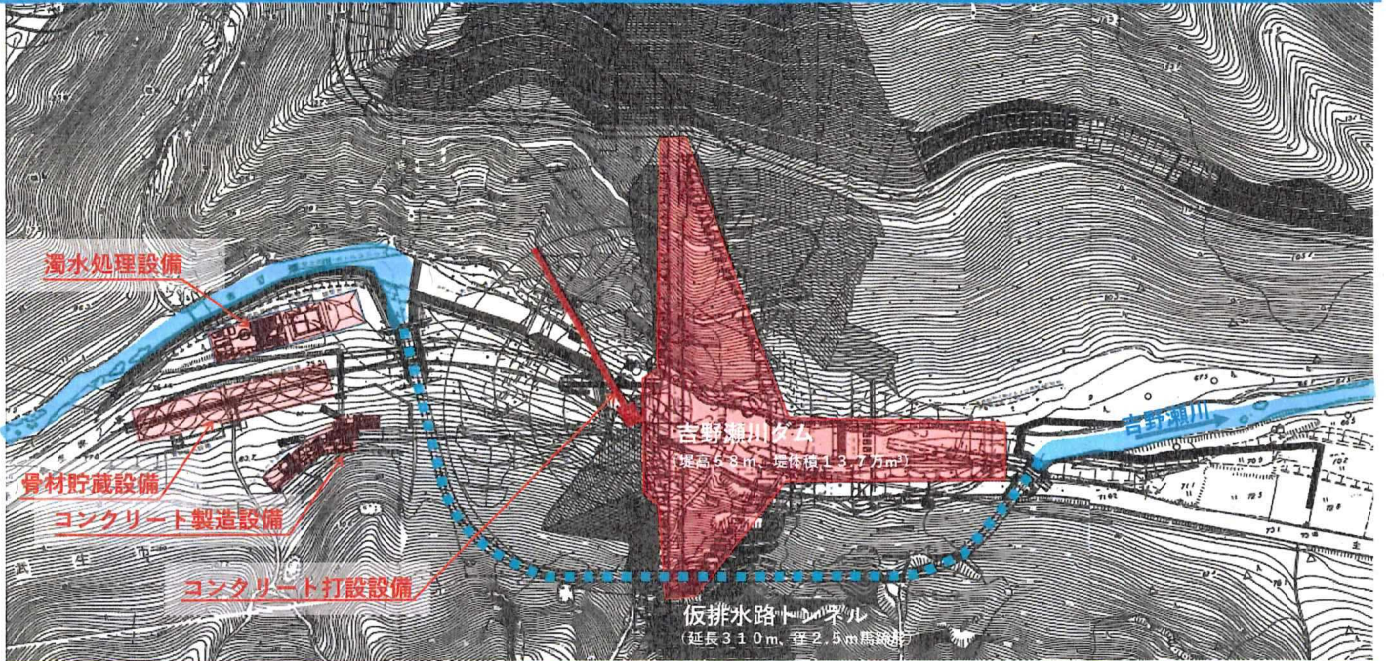
ダム用仮設備の整備状況

現在、現地でコンクリートを製造するためのコンクリート製造設備を整備しています。

濁水処理機も稼働しており、工事で発生する汚れた水を機械で処理して、工事水に循環利用します。(余剰水は川へ流します)



ダム本体工事の進捗_ダム用仮設備



ダム用仮設備のイメージ (河内川ダムの事例)



道路工事の進捗 (2022年11月時点)

①左岸林道工事

(山を切り開いて林道を造っています)



②県道甲楽城勝蓮花線付替え工事

(山を切り開いて道路を造っています)



③右岸林道工事

(谷を盛り立てて林道を造っています)



④発生土砂受入工事

(発生土砂を受入れて盛土を行っています)



吉野瀬川ダム建設事業の情報発信

ダム事業の情報を発信中
 福井県ホームページ 吉野瀬川ダム建設事務所 からアクセス
 (https://www.pref.fukui.lg.jp)

現場状況 随時発信

7月6日に最新動画アップ
 アクセスして下さい👍

ツイッター“吉野瀬川ダム” 検索
 いろいろな情報を配信中

吉野瀬川ダム建設現場の観光資源への活用

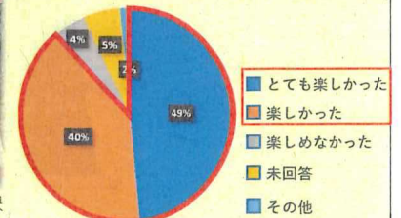
地元地域の活性化をダムツーリズムで後押ししたい

従来のように管理者が実施する見学会でなく、民間旅行会社が企画してツアー行程にダム現場見学コースを組み込んだ旅行を催行（ダムツーリズム）

- ・ 昨年秋、旅行会社 2 社が 6 ツアー開催 計 138 名参加。ツアーは好評（9割満足）
- ・ 本年度は 3 ツアー催行済み、1 ツアー参加者募集中
- ・ ダム現場と観光をつなげた取り組みをニュースで紹介。土木事業の啓発にも貢献



R 3 来場者の感想 (138名)



ツアー来場者の声

- ・ ダム建設の大変さが分かった
- ・ ダム完成が楽しみ
- ・ 機会があれば、また見学したい
- ・ 安全な暮らしのために、仕事頑張ってください
- ・ 歩くのが大変だった

多文化共生保育

越前市
上太田保育園

越前市の多文化共生保育の経緯

【対応職員配置の経緯】
 平成10年 4月 外国籍児童対応職員の課配置(巡回支援1名)
 平成22年 4月 外国籍児童保育補助の園配置(保育補助4名)
 園配置:上太田保育園2名、なかよし保育園2名
 平成31年 4月 市庁舎に外国人ワンストップセンター開設
 令和 4年 4月 地元大手企業から上太田保育園への職員派遣(企業応援1名)
 園配置:上太田保育園4名、なかよし保育園3名

【外国籍園児と対応職員数の推移】 単位:人、各年4月1日現在(※4.11こども家庭課調べ)

	H10	H17	H22	H28	H33	R1	R2	R3	R4
入園園児	不明	61	不明	80	103	112	133	132	134
巡回支援	1	2	2	3	3	3	3	4	4
保育補助	-	-	4	5	5	5	5	6	7
企業応援	-	-	-	-	-	-	-	-	1

一人ひとりの存在の認め合いの中で…

ほいくえん
たのしいなあ

みんな いっしょが
うれしいなあ



上太田保育園の概要

○クラス編成 (R4.11.1現在)

	全体	外国籍児	外国籍児の割合
5歳児	15人	7人	47%
4歳児	16人	7人	44%
3歳児	14人	6人	43%
2歳児	11人	7人	64%
1歳児	11人	3人	27%
0歳児	3人	0人	0
合計	70人	30人	43%

園全体の外国籍児の割合 … 43%

○職員構成

園長	1名
主任	1名
保育士	12名
保育補助	4名
外国籍児保育補助	4名
ポルトガル語通訳(翻訳)	1名
調理員	3名
事務員	1名

R4.4
5/8

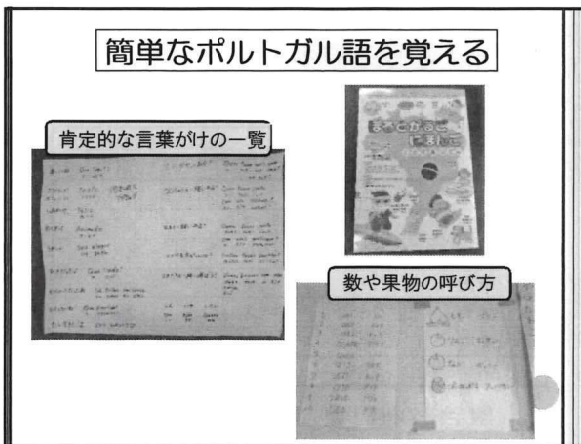
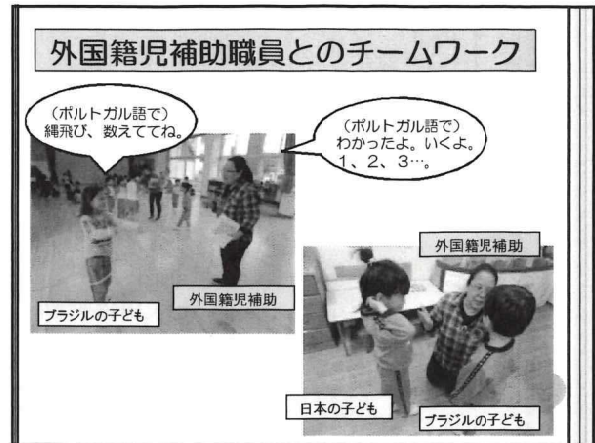
多文化共生保育で工夫していること

言語

生活と遊び

食事

保護者との関わり



ポルトガル語講座



行事での取り組み

○運動会や発表会などで
ポルトガル語やブラジルの遊びを取り入れる



**取り組み③
食事**

○食文化の違いを受け止める
○一人一人に合わせた関わり




○ブラジルの食文化を知る(給食)



フェジョアダ
(豚肉と豆の煮込み)

ダッブリー
(ブラジル風トマトサラダ)

**取り組み④
保護者との関わり**



保育士(担任)

ブラジルの保護者

外国籍児補助職員



CLASSE YUKI
ゆき
クラス表記

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
幼保連携型認定こども園教育・保育要領

給食だより
(ポルトガル語版)

おねがい
掲示物

P123

第1章 総則
第2節 「教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画」等
3 特別な配慮を必要とする園児への指導
(2) 海外から帰国した園児や生活に必要な日本語の習得に困難のある園児の幼保連携型認定こども園の生活への適応
海外から帰国した園児や生活に必要な日本語の習得に困難のある園児については、安心して自己を発揮できるよう配慮するなど、個々の園児の実態に応じ、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。

P309

第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項
第5節 教育及び保育の実施に関する配慮事項
(5) 国籍や文化の違い
園児の国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにすること。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領より

多文化共生保育の中で・・・



子どもの国籍や文化を認め合い、互いに尊重する心を育む

手遊び♪あたまかたひざ♪



ご清聴ありがとうございました

活動結果報告書

令和5年4月10日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年3月26日(日曜日)

活動先 越前市民

活動目的 議会の内容を市民に報告

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

すなだ竜一市議会だより2023年春号

印刷業者 三好印刷

支払金額 525,800円

印刷枚数 25,000部

折込 福井新聞、日刊・読売・朝日・中日・毎日・日経 24,000部

封筒印刷・発送業務 960部

広報誌内容別紙のとおり

すなだ竜一

市議会だより

2023年
春号



TEL.090-2377-3396 E-mail:sunaryu2000@gmail.com



越前市 2023年市政トピックス

越前市総合計画2023基本構想を策定

越前市総合計画2023基本構想が策定されます。市総合計画は、本市が目指す将来像の実現に向けて、総合的かつ計画的なふるさとづくりを推進するための市政運営の指針であり、市民や団体、事業者等と行政が、それぞれの役割を担いながら、参画、協働してふるさとづくりに取り組むための共通のビジョンとなるものです。今回の市総合計画は、2040年に向け、本市の課題解決のための政策を積み上げた「課題解決型」の総合計画となっています。

基本構想	基本計画	
2040年に向けて取り組む6つのテーマ	36の政策	12のチャレンジプロジェクト
1 地域の宝をブランドに	(1) ふるさとブランディング (2) 観光客 (3) 歴史文化の継承と活用 (4) 未来の産業文化創造	① 文化振興推進プロジェクト ② Uターン帰郷プロジェクト
2 活力あふれる地域政策	(5) 次世代産業の創出 (6) 伝統のふくり (7) いでいでい働く住家 (8) 農産物の安心 (9) 次世代のふくり (10) 観光で新しい地域 (11) 防災・国土の安全と活用	③ 観光振興推進プロジェクト ④ 有機農業推進プロジェクト
3 すこやかで幸せな暮らし	(12) 地域へのふさい (13) 高齢者の生活支援 (14) 障がい者の生活支援 (15) 子育て	⑤ 高齢化対策推進プロジェクト ⑥ 100年人生健康増進プロジェクト
4 未来へつづく子育て・教育	(16) 子育て・子育ての応援 (17) 子育ての教育 (18) 地域での教育 (19) まなぶまち (20) 生涯のサポート	⑦ こどもまるごと応援プロジェクト
5 安全で安心して住み続けられるまち	(21) 土地利用と都市構造 (22) 防災・国土の安全 (23) 地域交通ネットワーク (24) 防災・国土の安全 (25) 暮らしを支える上下水道 (26) 防災・国土の安全 (27) 治水機能の向上 (28) 防災・国土の安全 (29) 防災・国土の安全 (30) 防災・国土の安全	⑧ 安全安心で強靱なまちづくりプロジェクト ⑨ まちなか「あそび・くらし」プロジェクト
6 つながりが心地よいふるさと	(31) 市民参加と市民活動 (32) 人権尊重と市民参加 (33) 多文化共生 (34) 防災・国土の安全 (35) 防災・国土の安全 (36) 防災・国土の安全	⑩ 防災・国土の安全プロジェクト ⑪ 新しい地域づくりプロジェクト

紫式部プロジェクト

令和6年大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に、同年春の北陸新幹線県内開業との相乗効果も図りながら、紫式部を軸とした地域の魅力発信や文化振興、観光誘客に官民一体となってプロジェクトに取り組む事業です。

- (1) 大河ドラマ館を中央公園にオープン (期間限定)
- (2) オリジナルV-Tuberを開発しPRに活用
- (3) プロモーション・機運醸成の推進



大河ドラマ館として会場予定の「まさかりどんの館」



道の駅「越前たけふ」オープン!

令和5年3月18日(土曜日)に北陸新幹線駅「越前たけふ駅」前に、道の駅「越前たけふ」がオープンしました。また、同日に周辺の県道となる武生インター線、越前たけふ線も開通しました。

2023.3.18.SAT 北陸新幹線 開業1年前

道の駅 越前たけふ グランドオープン

道の駅「越前たけふ」は、国道8号から500m、北陸新幹線武生駅から880mとアクセス抜群の立地です。EV充電設備2台、無料駐車場600台完備。

魅力いっぱいの越前市のニュースポット 北陸新幹線「越前たけふ駅」に隣接する道の駅

地元鮮魚店が管理運営する当道の駅は、新鮮な魚介類やお肉・産直野菜を販売します。屋外のBBQ施設では、道の駅で購入したものをその場でBBQすることができます。(5月～予約開始)

1F 物産販売所

そば処 越前屋 [営業時間] 9:00-18:00

一乃松 [営業時間] 9:00-17:00

2F お食事どころ

寿司割烹丸松 [営業時間] 11:00-22:00(ラストオーダー21:30)

海鮮レストラン越前丸松 [営業時間] 11:00-22:00(ラストオーダー21:30)

●●● 2022年度 越前市議会の取り組み ●●●

議員報酬と定数について引き続き協議



今期市議会においても議会活性化特別委員会が設置されました。議員のなり手不足の課題より、改選前より議員定数と報酬について見直し・協議が重ねられ、時代に沿った定数・

報酬のあり方を引き続き検討しています。専門家の意見や類似自治体地方議会を参考に議員報酬の見直しを協議し、市民への説明・意見徴収を踏まえ、今期中に見直しを図ります。

政策サイクルの取り組みが始まる

前年度決算を審査する中で出された意見を集約し、次年度の予算編成などに反映するよう市長へ提言するという、決算と予算を連動させる「政策サイクル」の取り組みを越前市議会

の新しい試みとして始めました。現在、試行段階として意見をまとめ提言や参考意見を行いました。今後も政策サイクルの取り組みを続けてまいります。

市民と議会との語る会を開催しました

越前市議会では、越前市議会基本条例の趣旨に基づき、市民に開かれた議会の実現を目指し、毎年「市民と議会との語る会」を開催しています。今年度も新型コロナウイルス感染対策をとりながら開催し、議会報告および小グループに分かれての意見交換を行いました。越前市議会では、語る会でのご意見を基に、今後の議会活動に生かしてまいります。

2月4日（土）市民プラザたけふ

2月5日（日）あいぱーく今立



すなだ竜一 議会一般質問

◆9月議会

「保育士就業支援事業を継続せよ」

問 今年度、本市は保育士確保の新規事業として、全国の中でもレベルの高い就労支援事業を始めた。来年度以降の事業継続を求めるが、市の考えは。

答 公立園・民間園ともに、市民の保育ニーズに対応するための保育士確保は喫緊の課題である。県内外からの保育士の呼び込み、潜在保育士の掘り起こしなど、積極的な採用活動の支援策の一つとして、来年度以降も事業継続が必要と考えている。

問 今年度、本市は保育士確保の新規事業として、全国の中でもレベルの高い就労支援事業を始めた。来年度以降の事業継続を求めるが、市の考えは。

他の質問項目

・行政DX推進と市民サービスについて



砂田 竜一 議員

◆3月議会

「空き家の漏水対策を示せ」

問 1月の寒波の影響で、特に空き家の水道管から水漏れがあり、市の広範囲で断水となる恐れがあったが、今後の市として対策の考えは。

答 空き家における漏水を防止するには、長期間使用しない水道は、所有者自身が止水するか、市へ閉栓を申し込むことが有効と考えている。市広報誌やホームページで水道管の凍結防止対策や漏水の対応処理などを掲載し、注意喚起を図っている。

他の質問項目

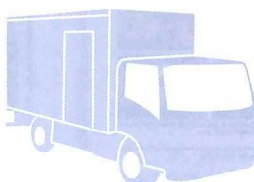
・歩道の除雪について
・JR武生駅周辺 来客者のおもてなしについて

◆12月議会

「本市の運輸業へ支援を」

問 燃料高騰の対策として、本市の流通を担う運輸業への支援を検討してほしいが、市の考えは。

答 燃料代などが高騰している中、市内の運送業者はコスト削減などの努力をしていることは把握している。本市では、原油・原材料等高騰対策として幅広い業種を対象に、利益が減少した事業所を支援している。引き続き実情把握に努め、今後の支援策等について検討する。



2023年 主な経歴「砂田竜一」

- ・越前市議会議員(2期目)(2023年3月10日現在)
- ・会派「市民ネットワーク」会長
- ・教育厚生常任委員会委員長
- ・議会運営委員
- ・議会活性化特別委員

〈その他〉

- ・南越消防組合議会議員
 - ・F-TOP21(福井総合政策フォーラム21)議員団
- 昭和51年9月5日生まれ(旧武生市府中1丁目出身)

